



小学部：長原小学校とのふれあいチューズデー

＜前期：3回 長原小の児童2・3・6年生が来校＞

ふれあいチューズデーでは、長原小学校の各学年の児童たちが平野支援学校を来校し、ダンシング玉入れ、ポッチャ、大玉転がしの3つの活動に分かれ活動に取り組みました。長原小の児童たちは、ダンシング玉入れでは、転がったボールを拾い集めてくれたり、カゴを本校児童の近くに持って来てくれたりしていました。ポッチャでは、斜面台を支えたり、話し合いで「利き手の方にまわったほうがいいよ」などの声かけをしたりする場面も見受けられました。大玉転がしでは、転がすスピードを本校児童のペースに合わせてくれたり、コースを外れて転がって行ってしまった大玉を走って取りに行ってくれたりなどの活動でも積極的に関わり交流する姿が見られました。また自然と応援する声もあがり楽しい雰囲気での交流でした。解散するときは、「もう終わり？」「もっと遊びたかった」など嬉しい言葉も聞くことができました。本校の児童たちの中には笑顔で見送る児童もあり、後期の交流も楽しみにしている様子でした。

小学部：長原小学校と長原ふれあい広場への参加

＜6月1日（月）長原小で実施＞

今年度は長原小学校でふれあい広場を実施しました。まずはグループに分かれ、自己紹介をしました。各グループでは、とても楽しそうな様子で自分の名前など伝え合うことができました。その後、大縄くぐり、絵合わせ、玉入れ、輪投げ、ボウリングの5つのアクティビティを、長原小5、6年生が本校の児童の車いすを押して、一緒にまわりました。輪投げでは長原小の児童が本校児童に輪を渡したり、的を持ち上げて入れやすいようにしたり、玉入れでは、カゴを近くに持って来てくれたり、外れた玉を拾ってくれたりしました。また、ボウリングでは斜面台の近くで角度をみるなど、各アクティビティで積極的に関わる児童の様子が多く見られました。あっという間に交流は終わり、最後の本校児童のあいさつでも、言葉が出るまで見守り、「頑張れ」と声をかけて応援をしてくれる姿も見ることができました。また来年度も楽しく交流をしましょう。

中学部：東住吉支援学校との交流 ＜7月7日（火）本校で実施＞

中学部では、年に1回、東住吉支援学校と交流をしています。昨年度は、中学部全員で東住吉支援学校に行き、交流学習を行いました。今年度は、東住吉支援学校の生徒たちが本校に来てくれ、交流学習を行いました。午前中は、学年別でチームに分かれ、自己紹介をして少しずつ緊張をほぐしたあと、ポッチャ大会をしました。特別ルール of 交互投球でゲームが進む中、狙い通りにボールが止まるとお互いに拍手を送り合い、心の距離がぐっと縮まるのが感じられました。お昼には昼食交流を行いました。美味しい給食、お弁当を前に、好きなことや学校生活について話し、和気あいあいとした時間を過ごしました。午後には、本校から手作りのお礼状を贈り、お互いに今日の思い出を振り返りました。お見送りでは、玄関で「またね」と名残惜しそうに手を振り合い、絆が深まったことを実感できる一日となりました。

高等部：長吉高等学校文化交流会 生徒間打合せ交流

＜9月4日（金）本校で実施＞

本校高等部では、長吉高等学校の多文化研究会に所属する、さまざまな国にルーツを持つ生徒との国際交流の機会を設けています。本年度は、多文化研究会の生徒10名が来校し、12月に実施予定の交流会に向けた生徒同士の打ち合わせを行いました。まず、本校の生徒から、みんなで楽しめる活動として風船バレーを提案しました。本校の生徒と長吉高等学校の生徒による混合チームを3チーム編成し、実際に試合を行ったところ、大いに盛り上がりました。一方、長吉高等学校の生徒からはダンスの提案がありました。それぞれが自分のルーツに関わる音楽に合わせたダンスを披露するとともに、みんなで踊れるように振り付けを丁寧に教えてくれました。また、ダンスで使用する楽器や小道具にも実際に触れさせていただきました。本校の生徒たちも、音楽に合わせて自然に体を動かしたり、振り付けを見て同じように踊ったりするなど、笑顔あふれる様子が多く見られました。今後は、12月の交流会に向けてダンスの練習にも取り組んでいきたいと思います。

